



【パネル展示】



【トンネルの観察会】

### ▼活動の目的

身近に棲んでいるカエルと、コウモリの観察で自然のしくみや環境の変化を体で感じてもらうこと。  
動物の世代を継ぐしくみ、性について、人間も含めそのすばらしさを知ってもらうこと。  
親子で、錦川流域で体験学習をして、見分を深めてもらうこと。

### ▼活動の内容

錦川流域での生態形調査、モリアオガエル、ニホンユビナガコウモリの個体数調査  
バットディテクターに使うこもりの飛翔追跡、モリアオの卵塊調査  
小学校、中学校、地域コミュニティでの講演会、各種イベントへの参加啓蒙活動

### ▼活動の効果

私たちの生活する地域に、大切な生き物、コウモリや、カエルが生息していることを知ってもらった。  
コウモリの生息地であるトンネルや、カエルの生息の為に水環境が最も重要であると認識して頂いた。  
2006年の山口県内の環境共生ネットワークの引受けの基礎となった。

### ▼苦労した点・反省点

当初は300名を越える参加者を見込んでいたが、台風後の大雨、大荒れの天候の為、野外のメン観察、川辺での観察中止、トンネル観察のみとなった。天候の予測が難しかった。  
その為、県内の参加が少なく、今後の課題となった。